

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		日中、居室で過ごす入居者よりホール内の小上がりで休んでいる入居者が多い、また居室の扉が開放されている。静養している入居者にとって快適性やプライバシーの確保が十分に行われているか。	①日中静養する場所は、居室とする。 ②個々の入居者のプライバシーが確保される。 ③居室内での転倒事故を防止する。	居室で静養できるよう支援する。	3か月
2				居室で休むときには居室の扉を閉める。	3か月
3				入居者に対し、ベルや鈴などを用いて呼び出しの合図を行うよう、根気よく働きかけを行う。	3か月
4				合図の理解が困難な入居者に関しては、鈴などをベッド周辺に取付け、早期移動の確認が出来るよう対応する。	3か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。